

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称	令和元年度 豊島区子ども読書活動推進会議（第1回）	
事務局（担当課）	文化商工部 図書館課	
開 催 日 時	令和元年6月6日（木） 午後3時00分～4時00分	
開 催 場 所	会議室（中央図書館 5階）	
議 題	1 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）の概要について 2 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）平成30年度各課 進捗状況調査について 3 区民読書活動実態調査（案）について 4 その他	
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開の理由：行政機関における政策意志決定過程の途上に位置付けられる会議であるため
	会 議 録	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部非公開
		一部非公開のその理由：行政機関における政策意志決定過程の途上に位置付けられる会議であるため
出席者	会 員	文化商工部長（会長）、地域区民ひろば課長（代理 区民ひろば朋有所長）、図書館課長、健康推進課長（代理 精神保健グループ係員）、長崎健康相談所長（代理 保健指導係主査）、子ども若者課長（代理 子ども若者支援係長）、子育て支援課長、学務課長、放課後対策課長、池袋幼稚園長、千早小学校長
	事 務 局	図書館課経営担当係長、図書館課主任2名

審 議 経 過

1 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）の概要について

事務局：資料1-1、1-2、1-3について説明

会 長：子ども読書活動推進計画について、質問等あればいただきたい。

会 員：小学生の1か月の平均読書冊数22.6冊というのは、1年生から6年生までの全学年の平均なのか、または特定の抽出した学年のみの平均なのか。

事務局：平成26年度に実施した調査の対象は小学校2年生と5年生となっており、それぞれの平均冊数を合わせて算出したもの。

会 員：想定していたより多いように思われるが、マンガや雑誌なども含まれているのか。

事務局：豊島区の調査では、マンガ、新聞、学習参考書も対象としているため、数値としては多くなっている。

会 長：実感としてはやはり多く感じる。読んでいる人と読んでない人で両極端になっている可能性も考えられる。

調査対象となる小学校2年生と5年生は区内すべての児童が対象なのか。また、その2学年に絞っている理由はなぜか。

事務局：サンプルとして各学年600名を対象としている。前回調査は10校に協力いただいた。2年生と5年生とした理由は、学年を高学年と低学年にわけ、さらにそれぞれの間となる学年を対象とした。

会 員：概要版6ページの貸出冊数の最新実績として、平成29年度は児童書345,748冊と32年度の目標値を大きく上回っている。とりわけ、学校図書室の貸出数が非常に伸びており、小学校では279,775冊、中学校でも20,148冊といずれも目標値を上回っている。学校での朝読などの取り組み成果が着実に出ている。

2 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）平成30年度各課進捗状況調査について

事務局：資料1-4について説明

会 長：進捗状況調査依頼について質問があればいただきたい。また、各課の30年度の取り組みを伺いたい。

会 員：子ども家庭支援センターで、ブックスタートとして1歳児がいる家庭に本をプレゼントしている。また、乳幼児向けの読み聞かせや父親向け事業へ参加いただいたときに本をプレゼントするなどの取り組みを行っている。

会 員：図書室の本を購入する際にどのような本を置くか、冊数をどうするかを計画に記載している。

会 員：図書館課と子どもスキップが連携して図書ネット便を開始したことで読書量が増えた。一般図書を読む機会が減ってきている中、毎月異なる本を送ってもらえるのは

ありがたい。引き続きお願いしたい。

会 員：ブックリスト配布や各園の実情に合わせて図書館と交流している。図書館が近い園では図書館に行っておはなし会に参加している。離れている園には行事の際に図書館から読み聞かせなどをしに来てもらっている。教員の教材研究を深めていくことも取り組んでいる。保護者へブックリストを配布しているが、さらに園内の本貸し出しリストを作り保護者と共有することで、子どもたちにどのような良い影響があるのかを実感できるようにしている。

会 員：学校司書に週 1 回きてもらえることが非常にありがたい。司書を通じて良い本を紹介したり集めたりしている。図書指導を教員と連携してできている。保護者への啓発としては図書館だよりを出している。また、読書週間に朝読書を行うなど読書の機会を増やす取り組みも行っている。PTA がボランティアで読み聞かせをしてくれている。今年は校長の読み聞かせも行いたい。

会 員：1 歳 6 か月健診の待合スペースに乳幼児向けの本を揃えたり、図書館から来てもらっておすすめの本の紹介や図書館の利用について PR してもらっている。池袋保健所と長崎健康相談所の両事業であるパパママ準備教室で、図書館より来てもらい読み聞かせ講座を行っている。

会 員：鬼子母神 plus が 1 歳 6 か月健診、3 歳児健診の待合室となっており、そこで読書活動の啓発を行っている。

所沢市へ派遣されていた時に参加した会議で、朝読書を行うと子どもたちが一日落ち着いて過ごせるということや、図書館司書や職員が実際に学校に来て実施した事業がとても評価されていた。また、保健所の待合で読み聞かせを行うなど、連携をすることで非常に良い効果が生まれていた。

壁にぶつかったとき本に救われるということはよくあるが、お気に入りの本があるのは大人になっても大切なことだと感じる。

会 員：図書ネット便、図書館ボランティアのおはなし会、図書館のリサイクル本など活用させてもらっている。区民ひろばの職員も読み聞かせに非常に興味を持っており、講座の参加希望が多く頼もしい。

以前は保育園にいたが、保護者自身が活字離れしていると感じた。当時の園長が保護者会で毎回各年齢に合わせた絵本を読んでいて保護者に好評だった。

3 区民読書活動実態調査（案）について

事務局：資料 1 - 5 について説明

会 長：各調査について質問があればいただきたい。

会 員：調査内容については問題ない。集計の際に平均冊数は 2 年生と 5 年生は分けて出した方がよい。それぞれの学年では読んでいる本の文字数などに違いがあるため、まとめて平均を出すのは実情に合わない。また、貸出冊数にこだわらず、お気に入りの本が

持てたかどうかの視点もあると今後は良い。

会 員：平均冊数について、今回配布した資料は概要版なので簡略化してしまっているが、報告書の冊子では学年ごとに分けて集計している。今回の調査でも分けて検証するのでご安心いただきたい。

会 員：今回の調査に乳幼児が入らない理由はなにか。次期計画に乳幼児の項目は入ってくるのか。

事務局：乳幼児については別途聞き取り調査を行っているため、今回の調査には含めていない。計画には調査結果を踏まえた内容を記載する。

4 その他

事務局：資料1-6、参考資料1、2について説明

会長：資料についてと全体を通して質問等あれば後日事務局へ連絡していただきたい。

子どもの不読率を下げるために、第四次計画策定に向け引き続きご協力いただきたい。

提出された資料等	<p>配付資料</p> <p>資料 1-1 豊島区子ども読書活動推進会議設置要綱</p> <p>資料 1-2 令和元年度豊島区子ども読書活動推進会議会員名簿</p> <p>資料 1-3 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）概要版</p> <p>資料 1-4 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）平成30年度各課進捗状況調査依頼関係書</p> <p>資料 1-5 区民読書活動実態調査票（案）</p> <p>資料 1-6 子ども読書活動推進計画（第四次）策定スケジュール</p> <p>参考資料 1 第四次子供の読書活動の推進に関する基本的な計画（概要版）</p> <p>参考資料 2 第三次東京都子供読書活動推進計画（概要版）</p>
----------	---